宮下伸悟議員

旧落合小テレワークタウン構想の現状は

まだ光は見えていないが長丁場で取り組む

質問・・・テレワークタウン構想の進捗、企業の問い合わせ等の現状は。

町長・・・県の商工労働部で企業誘致を担当している東京事務所のメンバーが同行し、11社を訪問して誘致を行ったほか、日本テレワーク協会のセミナーで私自ら勧誘のプレゼンを行ったが、手を挙げた企業は未だにいない。今年度に旧落合小のオフィスを構築し、来年度からトライアルをスタートすることは厳しい状況。反応を見る限り、構想は合っていると思うので、長丁場で取り組む。

質問・・・勤住至近で、利便性の高い住宅確保のための具体的支援策は。

町長・・・旧落合小のオフィスに限定せず、ホームオフィスやスモールオフィスなど、低コスト・小型モデルでスタートするバリエーションも考えている。宅建協会のメンバーと候補となり得る物件について議論し、現地見分も行っている。

質問・・・移住情報サイト「るら・ふじみ」をリンクさせ、企業が進出をよりイメージしやすいように、テレワークタウンの募集ページを改良してはどうか。また、町内の飲食店や観光施設等に対して、Wi-fi環境の普及促進を行う考えは。

町長・・・移住サイトとのリンクという点は、気が付かなかった。実現したい。まずはオフィスのネット環境整備が最優先。

■道路インフラの持続可能規模について

質問・・・国が策定を要請している「公共施設等総合管理計画」への対応、道路インフラの資産の管理状況は。また、今後の人口推計や収支推計に基づく町有道路インフラの持続可能規模について、町の見解は。

町長・・・道路と河川を除く公共施設は、ほぼ役場周辺に集約されている。道路と橋については、今年から国の支援を得て管理状況の調査に着手したところ。この先の数年は年1億2000万円程度の修繕を続け、その間にストック調査で長期的な見通しを立てる。町民の安心・安全を守ると共に、国の求めるストック調査についても全力で取り組んでいく。

□その他の質問

＊不登校児童・生徒への対応について

加々見保樹議員

観光資源保全に配慮しているか

町の重要施策であり全力を尽す

質問・・・観光資源である桜の樹に「てんぐ巣病」他病気が発生しているが、承知し対策を考えているか。

町長・・・承知している。公有地・区有地・私有地に分けて戦略を練る。町全体で守っていく方策を総務課が中心になり検討する。

質問・・・観光地を紹介するホームページ、駅前の案内板が古い情報のままであるが。

産業課長・・・動画をリニューアルする際、更新する。案内看板は観光協会と打ち合わせして直す。

質問・・・「関東の富士見百景」葛窪トンネル付近で高速道路敷地内の雑木が景観を邪魔している。

町長・・・ネクスコとは、コミュニケーションできるパイプがあるので要望する。

■国保料改定と高騰する医療費抑制策

質問・・・6年連続引き上げと一般会計から2000万円繰入ることへの見解と感想は。

町長・・・6年連続の値上げは残念である。前期高齢者の医療費が大幅に伸びている。前々から私の持論である税の公平さを重んじてきたが、あまりにも保険料が上がってしまうので激変緩和のため、一般会計より2000万円の繰入と繰越金を投入することとした。今回値上げしない考えもあったが歯止めのない繰り入れはよくない。2000万円という数字は今後も歯止めの額としたい。

質問・・・全く同じ治療内容でもDPC対象病院に付与される係数により病院間の診療費に大きな差が出る。入院患者の入院先の調査はしているか。

住民福祉課長・・・入院単価が高い病院があることは承知している。しかしそのことで「単価の低い病院へ」とは言えない。

■「住基ネット」と「マイナンバー制」

質問・・・住基ネットの評価とマイナンバー制に期待することは。

町長・・・事務処理の合理化・効率化が図られたが、現場レベルでは期待されるほどの効果はなかったという感想もある。マイナンバー制は一人一人のあらゆる情報が呼び出せるため、行政の効率化が期待される。

質問・・・自分の情報を専用のウェブサイトで知ることが出来るそうだが全員が使いこなせるのか。

町長・・・生涯学習教室などにより、ITを使えるための講習を行いたい。